

ウクライナ問題で試されている 護憲派の平和に向けた展望を示す!

もくじ

はじめに 一 試練に立つ護憲派

第1章 憲法9条とウクライナ問題

第2章 ロシアを糾弾しウクライナ人民を支援する
行動が求められる

第3章 侵略反対の叫びのその先へ
一 軍事同盟にピリオドを

第4章 覇権国家ロシアの危険性

第5章 危うい無条件停戦論

第6章 まとめ
一 第二次世界大戦の惨禍から人類が
かち取った成果をどう守り抜くか

著者略歴

深草 徹 (ふかくさ とおる)

1946年6月28日生。1965年愛知県立旭丘高等学校、1969年東京大学法学部各卒業。鉄鋼会社勤務を経て1977年弁護士登録(兵庫県弁護士会)。国道43号線道路裁判、尼崎公害裁判、川崎重工配転拒否解雇裁判、三菱重工職業性難聴集団裁判、市立尼崎高校障害者入学拒否裁判など公害事件、労働事件、憲法が保障する基本的人権に関わる事件を多数担当。2018年弁護士リタイア。深草憲法問題研究室。九条の会。ひがしなだ共同代表世話人

著書・論文に、『戦後最悪の日韓関係 その責任は安倍政権にある』(かもがわ出版)、『「慰安婦」問題の解決 戦後補償への法的視座から』(花伝社)、『9条加憲』は自衛隊を普通の軍隊とする一里塚(季刊『人権問題』第51号・兵庫県人権問題研究所)、『独立国の矜持とは～外国軍隊の撤退を求めた明治政府～』(同第53・54号)など。



9条とウクライナ問題

試練に立つ護憲派の混迷を乗り越えるために

深草 徹

ドイツ語訳家・平和運動家 池田 香代子

本の中から小さなタグボートが現れた。
乗っているのは9条を手にした私たち、引っ張っているのは
世界、行き先は戦争のない未来——

神戸女学院大学 名誉教授 内田 樹

ウクライナ侵攻は日本の護憲派内部にも深刻な亀裂をもたら
した。この不整合を直視することもまたわれわれの忌避
できない責務だと思う。

日本弁護士連合会 元会長 宇都宮 健児

ロシアのウクライナ侵略に対し、9条護憲派はどのような立
場をとるべきかを、明確に指し示す好著である。

推薦

定価 1760円
あけび書房

定価 1760円 (本体 1600円+税 10%)

2022年6月23日 発売 46判並製 200頁
ISBN978-4-87154-214-2 C3031

あけび書房 TEL: 03-5888-4142
FAX: 03-5888-4448

〒167-0054 東京都杉並区松庵3-39-13-103
https://akebishobo.com/ Mail: info@akebishobo.com



----- キトリ線 ✂ -----
ご注文の上、最寄りの書店、あるいはあけび書房へご注文下さい。

注文書

書店印・取扱先

9条とウクライナ問題

試練に立つ護憲派の混迷を乗り越えるために

() 冊 注文

その他・備考

氏名・団体名

ご担当者
氏名

送り先 〒 () - ()

電話番号 ()

取次帖合: 日販・トーハン・楽天ブックスネットワーク・中央社・大学図書
日教販・全官報・新日本図書・鎌倉書店・JRC

発行: あけび書房 TEL.03-5888-4142 FAX.03-5888-4448